

健康里から

介護や健康に関する
出前講座を
行っています

町内どこでも
お伺いします

町では65歳以上の方を対象にご自宅や集会所などにお伺いし、介護や健康に関する講話やレクリエーションなどの講座を行なっています。お茶講、同行講、老人クラブなど人数は問いません。内容が具体的に決まっていない場合でも相談に応じます。



▲出前講座による健康レクの様子



私達がお伺いします！



問い合わせ
保健福祉総合センター内
地域包括支援センター
☎80-3155

医療の 窓

今回は大腸内視鏡検査（大腸カメラ）についてお話ししたいと思います。大腸内視鏡検査で調べる病気といえば何といっても大腸癌や大腸ポリープです。



国保東庄病院
こまた せいいち
小又 誠一 副院長

習慣の欧米化で食物纖維摂取量の減少や脂質摂取の増加などが原因として考えられており、また、運動不足で便秘になりやすいなども原因として考えられています。

大腸内視鏡検査といえば、みなさんはあまり良いイメージがないかもしれません。

検査を経験したことのない方であれば、お尻からカメラを入れら

- ・おいしくない下剤を大量に飲まなければいけない
- ・前回のようにお腹が痛くてとても苦しい思いをしてとめられなければいけない
- ・検査が終わった後もガスがたまつて苦しい思いをしてしまいます。

以上のようなことから、便秘や腹痛、血便などの症状があつたり、便潜血反応の検診で陽性になつても大腸内視鏡検査を敬遠される方が比較的多いように思われます。

最近では、以前に比べ大腸内視鏡も全体的に柔らか

く挿入時の疼痛も軽減できるようになってきました。また、以前は内視鏡から空気を入れて大腸を膨らませて観察していましたが、現在は空気に代わって炭酸ガス（二酸化炭素）を入れるようになりました。炭酸ガスは大腸から体内にすみやかに吸収されて肺から呼気として排出されます。したがって、以前のように検査後にお腹の膨満感が続くとともに少なくなり、内視鏡挿入時の苦痛も軽減されるようになりました。

以上、何かわからないことがあればお気軽に外来でご相談ください。

内科 月～金曜日の午前および第1・第3土曜日の午前

整形外科 毎週火曜日の午前

(受付時間は午前11時まで)

※救急患者については、休診日および時間外でも24時間体制で診療しますので、電話連絡のうえ来院してください。☎86-1177